

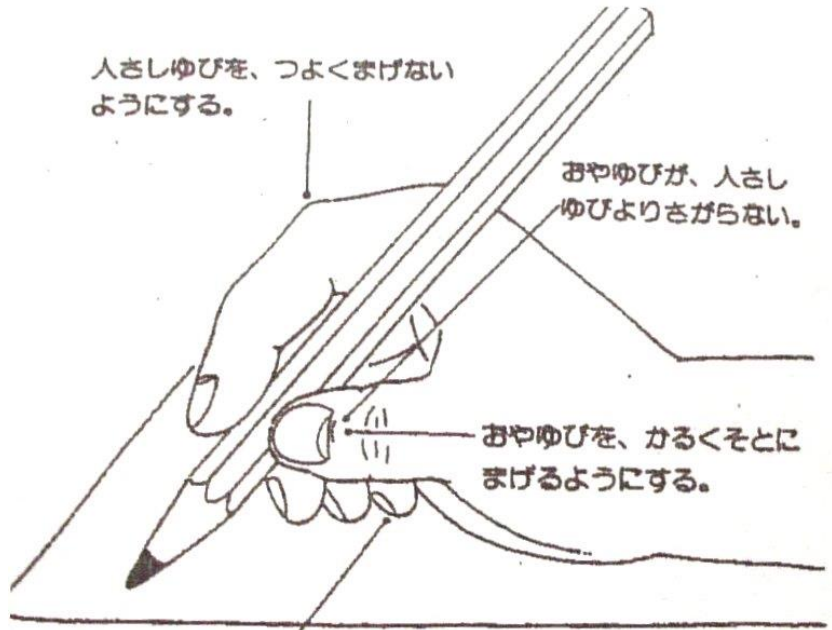
## 【鉛筆の正しいもち方】

この機会に、ご家庭でも、鉛筆の持ち方の見直しをお願いします。

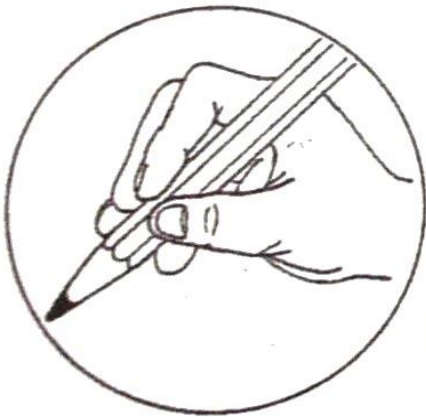
ただし、小さい頃からの習慣で身に付いていることなので、直そうとしてもすぐに正しく持てるようになるわけではありません。

きちんと持てるようになるには本人のやる気次第です。根気強くチャレンジするしかありません。

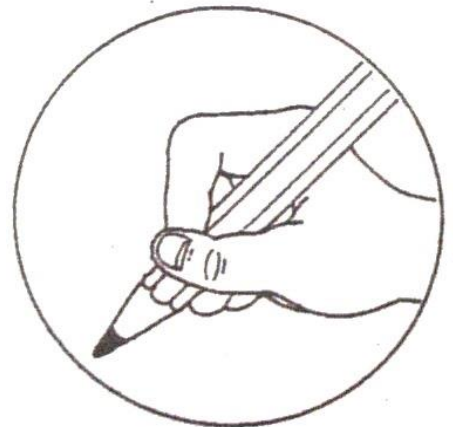
厳しい声かけや叱責は、やめましょう。下のア～オは要注意です。



ア) 4本のゆびでもっている。



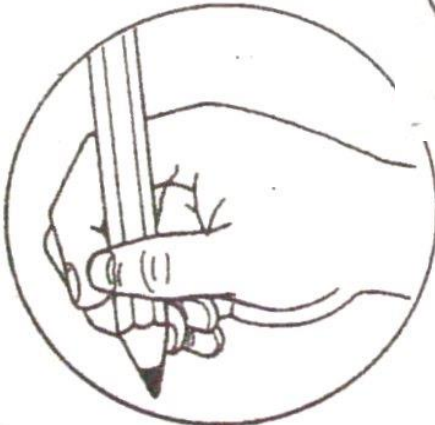
イ) おやゆびが、まえにつきでて、人さしゆびのつめがかくれている。



ウ) 人さしゆびをつよくまげている。



エ) えんぴつのかたむきが、はんたいになっている。



オ) けずったところを、もっている。



## 【箸の正しいもち方】

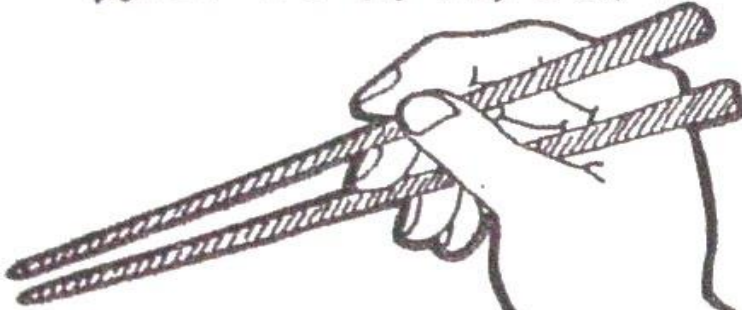
「箸の持ち方」と「鉛筆の持ち方」には、共通点があります。左の2つが正しい持ち方です。右の3つは要注意です。

ただし、小さい頃からの習慣で身に付いていることなので、直そうとしてもすぐに正しく持てるようになるわけではありません。

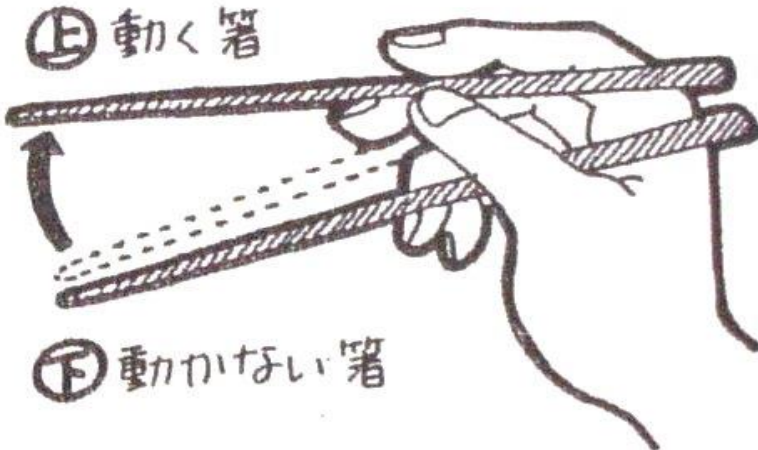
きちんと持てるようになるには本人のやる気次第です。根気強くチャレンジするしかありません。

厳しい声かけや叱責は、やめましょう。

① 親指・人差し指・中指で  
えんぴつの持ち方で持つ



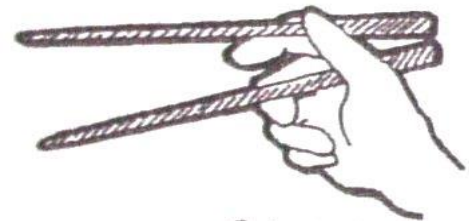
② 親指のつけ根と  
薬指の第一関節  
でささえる



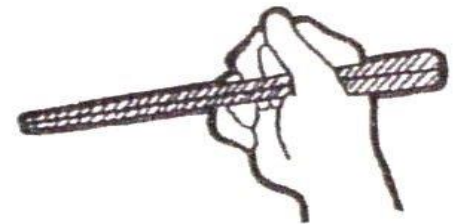
③ 動く箸



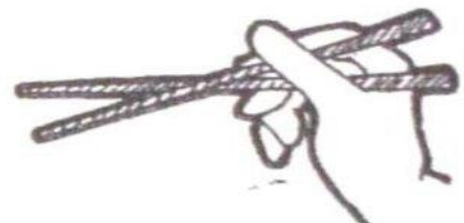
④ 動かかない箸



ちょっと見ると正しい  
ふうですが自由になら  
ずはさみにくい



食べ物をはさむこと  
ができません



箸が交差して食べ物  
がつかめません

《ポイント》 鉛筆・箸、姿勢等について、低学年のうちに身に付いていればベストですが、良くないクセがつくと直すのは、なかなか難しいものです。基本的な生活習慣のひとつとして、少しずつ改善していくと良いですね。決して焦らず、ゆっくり取り組んでください。